

## 135 No. 15:知事トップセールスー食や観光、魅力伝え効果ー (平成31年1月29日)

本県の観光と農産物をPRするため昨年12月20日、福田富一知事、県議の高橋文吉、白石資隆、野澤和一の3氏、県観光物産協会を含む観光事業者らが香港を訪れた。初日は、香港栃木県人会を開催。40人近い会員が集まり福田知事の5年ぶりの来港を歓迎し、栃木の話で大いに盛り上がった。

また、香港に輸出されている栃木の地酒9銘柄を用意し、とちぎ和牛と共に、知事自ら栃木の食をPRした。メディアを含む参加者一同、栃木のおいしさを改めて認識し、楽しいひとときを過ごすことができた。



【レセプションの様子】

翌21日は、在香港日本総領事館と日本貿易振興機構（ジェトロ）香港事務所を訪問した。和田充広大使兼総領事らと観光、農産物、加工食品、教育交流などに関する意見交換を行い、伊藤亮一所長からは香港の概況、県産品販路拡大のためのノウハウなどについてブリーフィングを受けた。

その後開催したレセプションでは、販路開拓や観光誘客など各方面において日頃からご支援いただいている香港の関係者を招き、イチゴのスカイベリーや、ナシのにっこり、とちぎ和牛など、本県が誇る農産物をご賞味いただいた。

スカイベリーのインパクトある大きさと甘さ。にっこりのみずみずしさと大きさ。どちらも驚きをもって迎えられ、果物好きの香港人を満足させていた。スカイベリーは一口で頬張れないほどの大きさで、女性が恥ずかしそうに口元を隠しながらも、笑顔で食べていたのが印象的であった。

とちぎ和牛のステーキ、ヤシオマスの薄造り、とちぎの星のおにぎりも好評で、普段から和食に慣れ親しんでいる香港人も、その味わいを堪能していた。

レセプションの後、旅行会社を対象とした観光情報説明会を開催。多くの香港人に訪れてもらえるよう、新しい観光情報を交えながら魅力あふれる本県の観光資源をより深く、丁寧に伝えるとともに、商談会では活発な情報交換も行われた。

22日は、朝早くから香港随一の果物市場を視察した。大手果物卸売業者と熱のこもった意見交換を行うなど、本県農産物の販路拡大に向け、精力的に活動した。この日は冬至であり、香港では家族そろって食事をする風習がある。食後のデザートとして、にっこりが飛ぶように売れており、時宜にかなった効果的なプロモーションであった。

知事の帰国後、レセプションに来ていた大手スーパーから早速、スカイベリーに関する問い合わせがあった。3日間の短い滞在だったが、トップセールスの効果が早くも出ているようだ。

毛塚 隆弘(けづか たかひろ)

栃木県香港事務所所長。

1993年県庁入庁。産業政策課、国際課などを経て日本貿易振興機構（ジェトロ）に出向。2017年4月から現職。栃木市出身。